

基本理念

地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指して

廃棄物の発生が抑制され、リサイクルが促進され、適正処理が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減する、いわゆる「循環型社会」の構築という目標に向けて、市民・事業者・行政の協働のもと、3R（リデュース（発生・排出抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用））を基本として、ごみの減量・リサイクルを推進し、地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指します。

基本方針

循環型のまちを目指し、地球温暖化の防止や資源の有効利用など地球環境全般を視野に入れ、次の三本の柱を基本に計画を推進します。

限りなくごみをつくらない社会を創ること

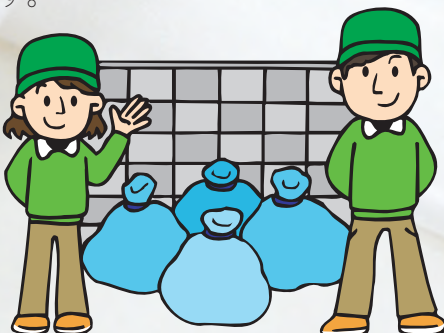
循環型社会を構築するため、一人ひとりがごみを発生させない、排出しないという生活様式を追求し、また、それを実践することによって、限りなくごみをつくらない社会を創ります。

市民の健康的で快適な生活環境を守ること

環境負荷の低減を図る取組を推進することにより、何よりも優先して市民の健康的で快適な生活環境を守ります。

市民・事業者・行政が 信頼し協力し合える関係を築くこと

環境への負荷を低減し、地域の生活環境を守り安心して住めるまちをつくるため、市民・事業者・行政がごみの減量・リサイクルの推進に向けたそれぞれの役割を担い、お互いが信頼し協力し合える関係を築きます。



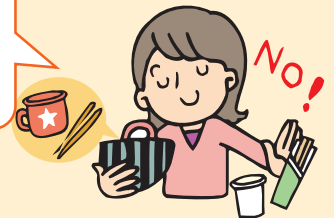
あなたの **チャレンジ** が **重要** です!

日ごろのライフスタイルを見直し、環境に配慮しながら地球にやさしい行動をする「環境市民」になりましょう。

外出するときは、マイカップやマイ箸を持参し、割り箸や紙コップを使いません。

- ・割り箸1膳 5g減量
- ・紙コップ1つ 10g減量

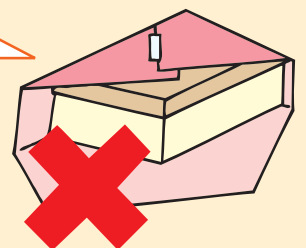
取組例 No. 1



中身を出したら不要になってしまう包装や袋などは断ります。

- ・包装紙1枚 5g減量

取組例 No. 2



計画の期間

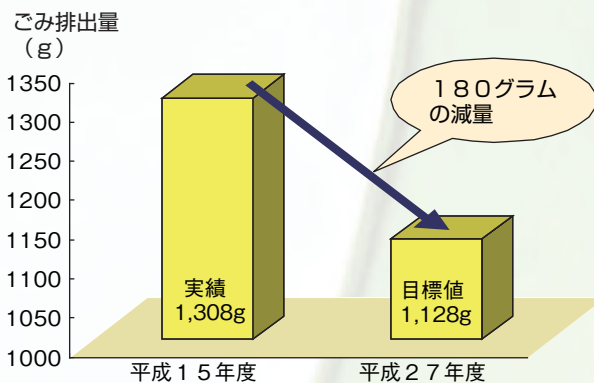
平成17年度から平成27年度までとします。

目標

平成15年度実績を基準として、次の目標を達成するために、ごみの発生抑制やリサイクルへの取組を推進します。

1 ごみの発生抑制の推進

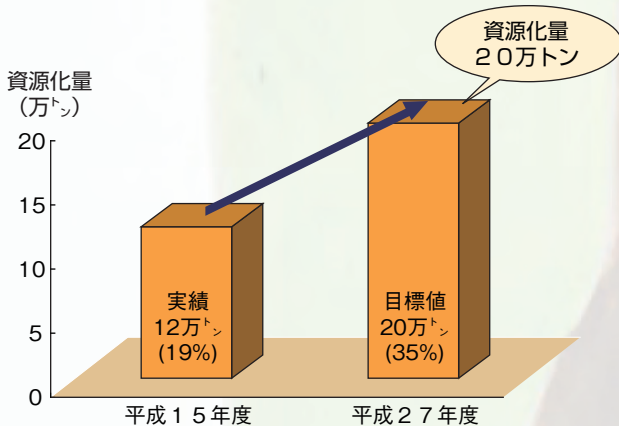
市民1人が1日当たりに出すごみを180グラム減量します。



※ごみ排出量は一般家庭（普通ごみ・粗大ごみ・家庭系資源物）、事業者（事業系ごみ・事業系資源物（事業活動に伴い出される資源物））、その他（道路清掃ごみ）の合計をいいます。

2 リサイクルの推進

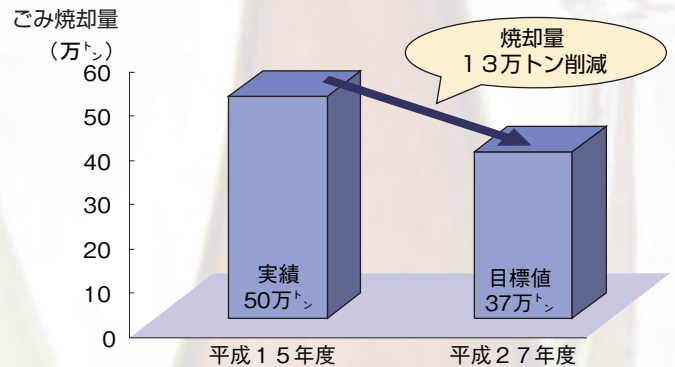
市全体の資源化量を20万トン（資源化率35%）にします。



※資源化量は、資源集団回収（古紙・ダンボール等）、市分別収集（空き缶・空きびん・ペットボトル・その他プラスチック類・ミックスペーパー・小物金属）、事業系資源物（梱包材・ダンボール等）、その他（生ごみ）を含めて算出しています。

3 焼却量の削減

ごみ焼却量を13万トン削減します。



こうした目標の達成を通じて、地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指すとともに、次のとおり埋立処分場の延命化、3処理センター体制の実現を推進していきます。

埋立処分場の延命化！

ごみの減量・リサイクルを推進することにより、**40年で一杯となる**現在の埋立処分場の使用期間を最大限延長することを目指します。

3処理センター体制の実現！

環境負荷の低減、事業の効率化を図り、ごみの減量・リサイクルを推進することにより、現在4つあるごみ処理施設の削減を目指します。

あなたの **チャレンジ** が **重要** です！

エコマークなどの環境ラベルを目印に、エコ製品を買うようにします。



グリーンマーク

取組例 No. 3

容器のごみを減らすため、詰め替え製品を使用します。
・洗剤やシャンプー（月2本で）
1日当たり 4g減量

